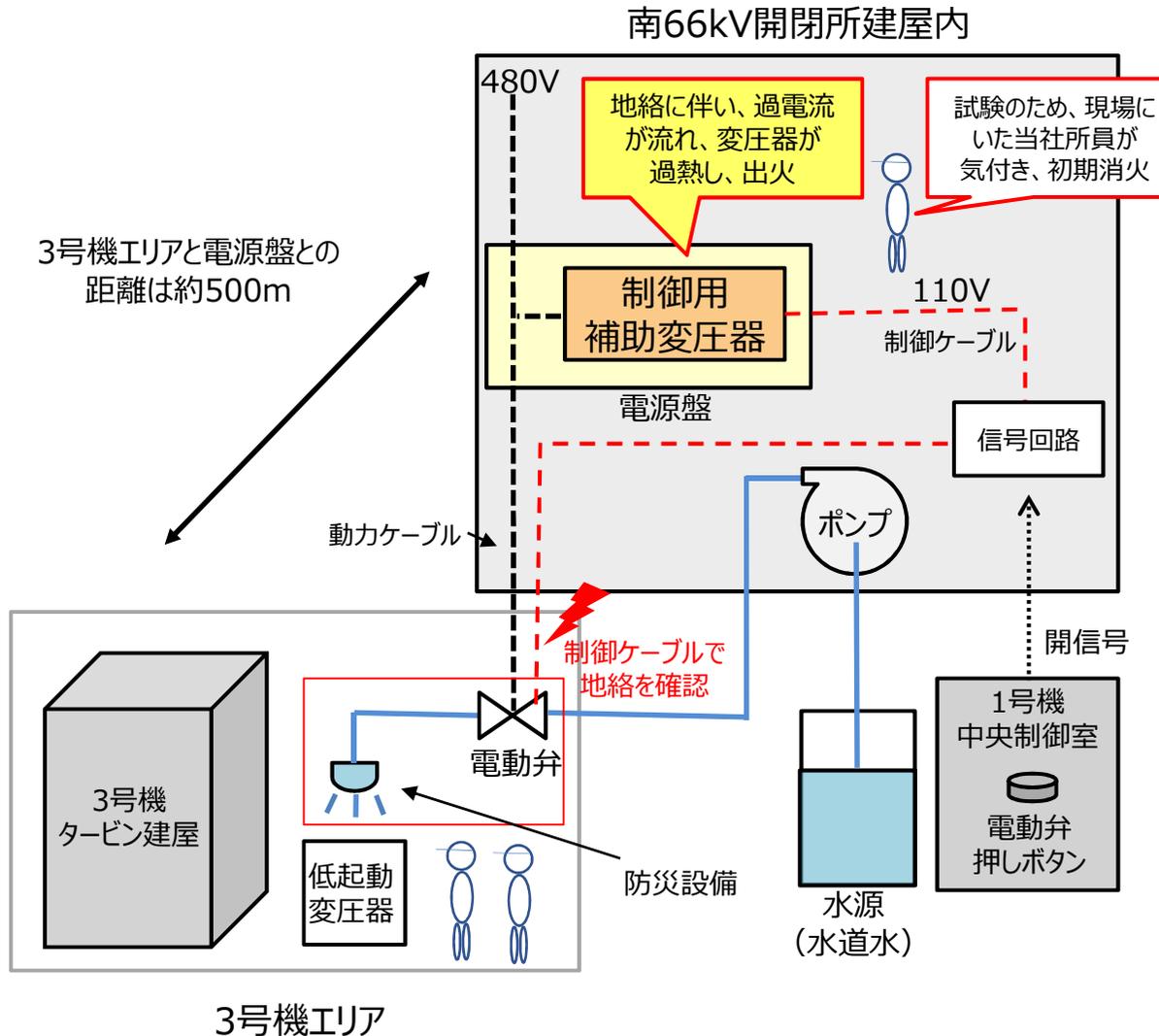


南66kV開閉所建屋内での火災について（イメージ）

- 低起動変圧器の防災設備の定例試験を実施中に制御用補助変圧器からの火災が発生
- 調査の結果、制御ケーブルで地絡が発生し、当該変圧器に過電流が流れ、過熱・出火したものと推定



<電源盤>

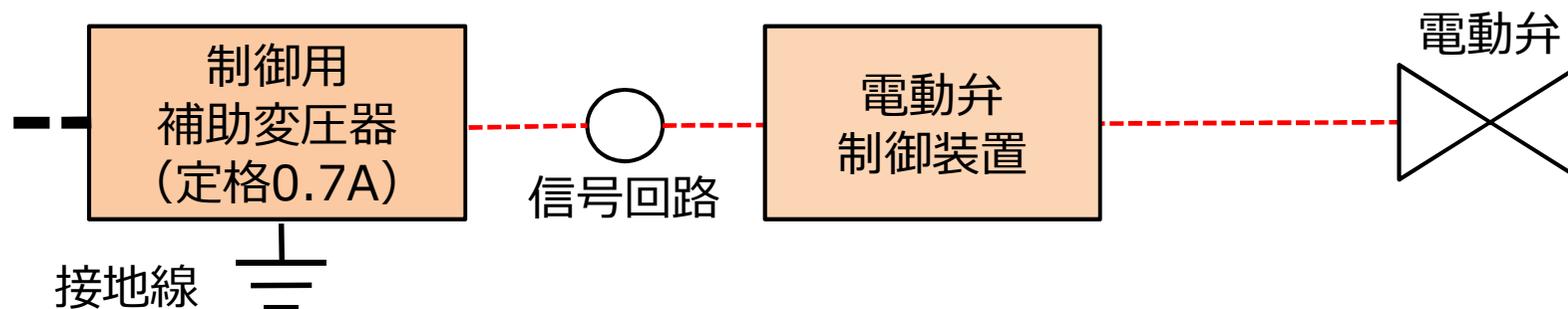


<取り出した制御機器>

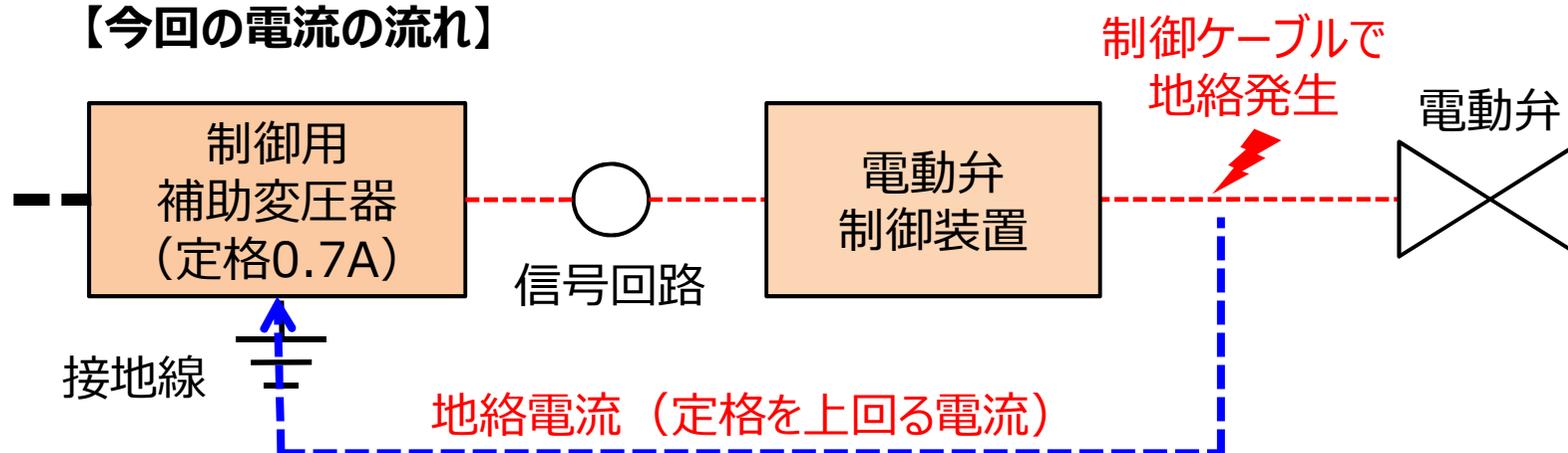
(参考) 地絡電流による変圧器火災のメカニズム (イメージ)

- 制御ケーブルで地絡が発生し、接地線を介して回路が形成。制御用補助変圧器 (定格0.7A) に地絡電流 (定格を上回る電流) が流れ、過熱・出火したものと推定

【正常時の電流の流れ】



【今回の電流の流れ】



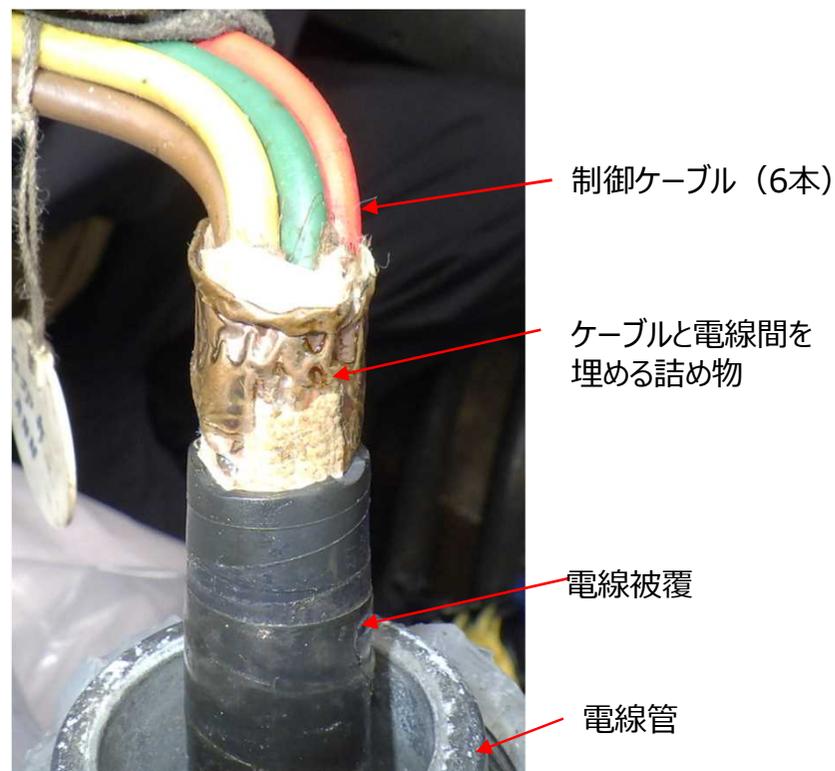
(参考) 各設備の点検状況について

- 発電所では、適宜、保全結果に関する有効性を評価しており、劣化メカニズム※を踏まえ、設備毎に周期を定めて点検を実施
- 変圧器とケーブルについても、劣化メカニズムを踏まえ、定期的に絶縁抵抗測定等を実施
- なお、制御用補助変圧器は空調設備がある建屋内に設置、制御ケーブルは、建屋内から電線管を通して地下トンネルに敷設されており、隣接した制御用補助変圧器や同様の制御ケーブルに劣化兆候が無いことを確認

※劣化メカニズム：使用頻度や環境要因（温度変化、湿度、機械的ストレス）などによって材料が変形し、品質や性能が低下する兆候

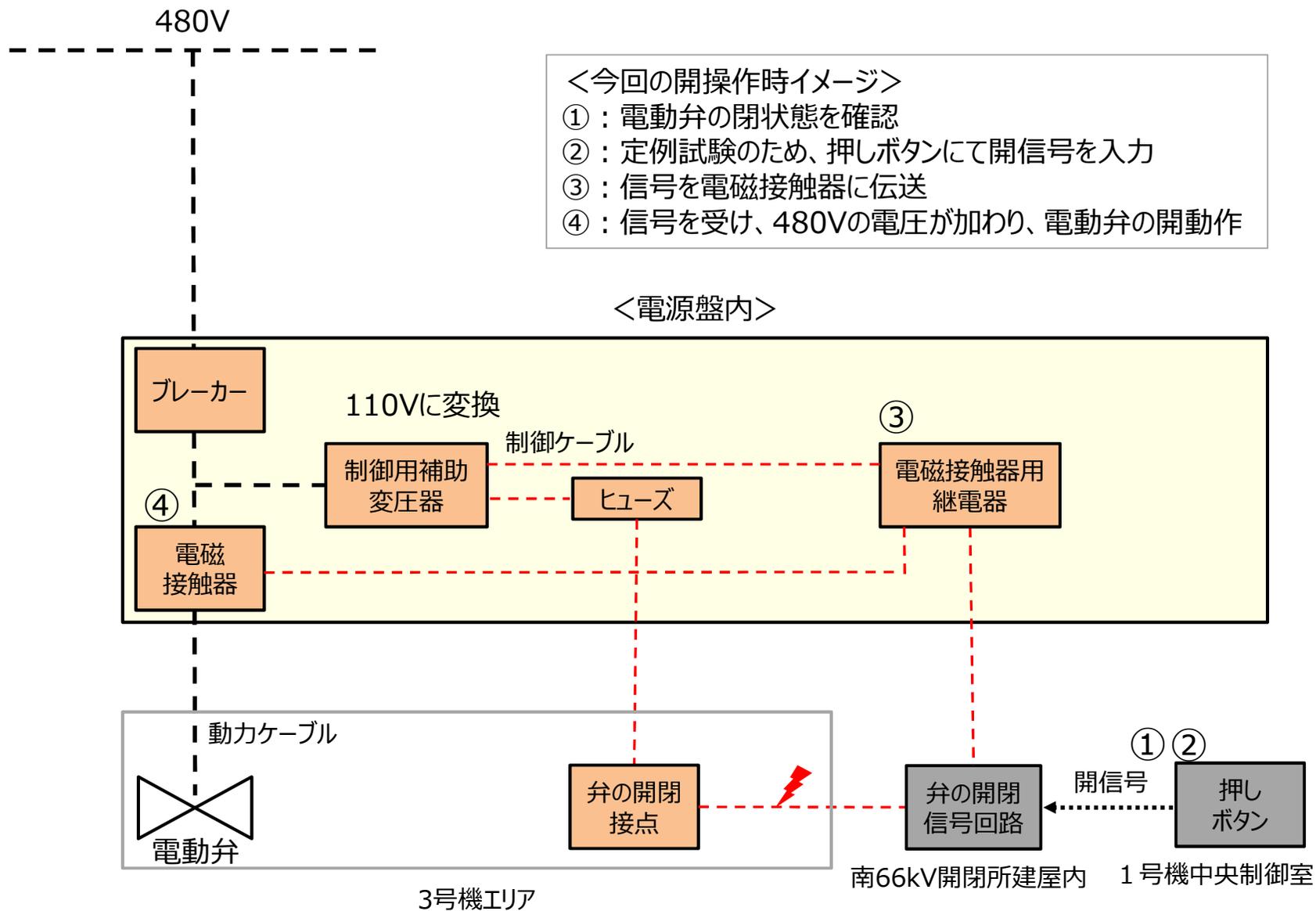


<隣接した制御機器の状況>



<電動弁側に繋がる制御ケーブル>

(参考) 電源盤内のイメージ



衛星電話設備に関する対応状況について

○ 調査結果は下表の通り（下線箇所）

- ✓ 屋外アンテナNo.1、No.5に関わる電子部品（集積回路）が年間を通した気温差により劣化が加速したことによる不具合と推定
- ✓ コネクタ接続部内部で水分によるショートが発生したものと推定

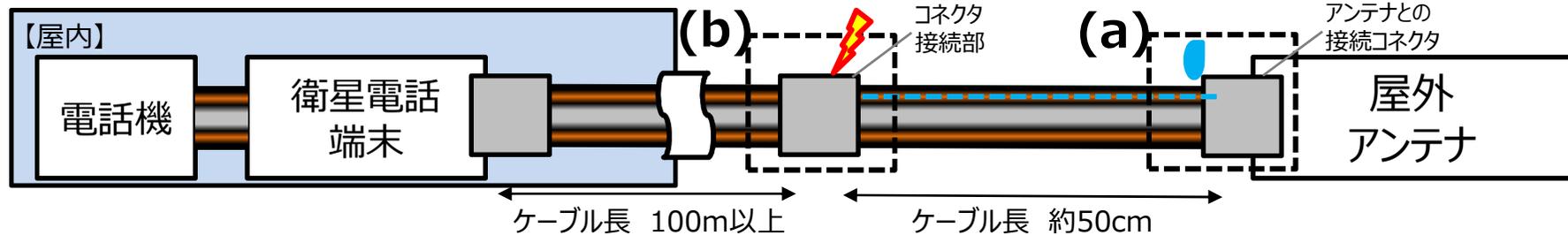
発生日	設置場所	不具合機器	調査結果
2024/11/21	緊急時 対策所	衛星電話端末No.1 屋外アンテナNo.1	<ul style="list-style-type: none"> ・端末は再現性なく、一過性と推定 ・屋外アンテナの送信機能に関わる電子部品 <u>（集積回路）が年間を通した気温差により劣化が加速したことによる不具合と推定</u>
2025/1/14		衛星電話端末No.2	<ul style="list-style-type: none"> ・再現性なく、一過性と推定
2025/1/27		屋外アンテナNo.5	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外アンテナの受信機能に関わる電子部品 <u>（集積回路）が年間を通した気温差により劣化が加速したことによる不具合と推定</u>
2025/1/31	7号機 中央制御室	コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外アンテナ増設済、既設衛星電話端末と屋外アンテナを新品に交換済（3/13） ・当社研究所の調査にて、<u>コネクタ接続部内部で水分によるショートが発生したものと推定</u>

コネクタでの水分浸入までの流れ

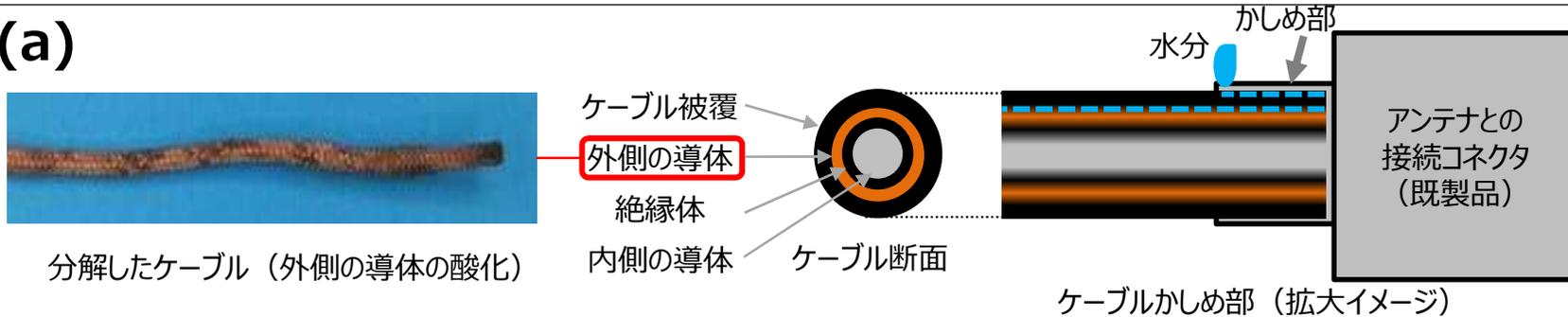
- 屋外アンテナ用ケーブルを分解したところ、外側の導体が酸化していることを確認
調査の結果、アンテナとの接続コネクタのケーブルかしめ部*から、水分がケーブル内に浸入-(a)
- 浸入した水分がケーブル内部を伝い、コネクタ接続部内部に到達したことで、ショートし黒く変色したものと推定-(b)

なお、アンテナとの接続コネクタは既製品であり、かしめ部とチューブにより浸水防止が図られている

*かしめ部：ケーブルとコネクタを接続する箇所



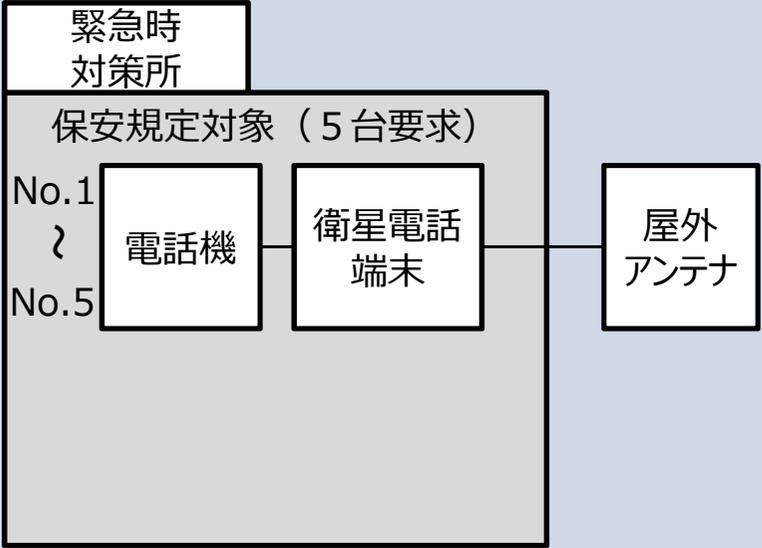
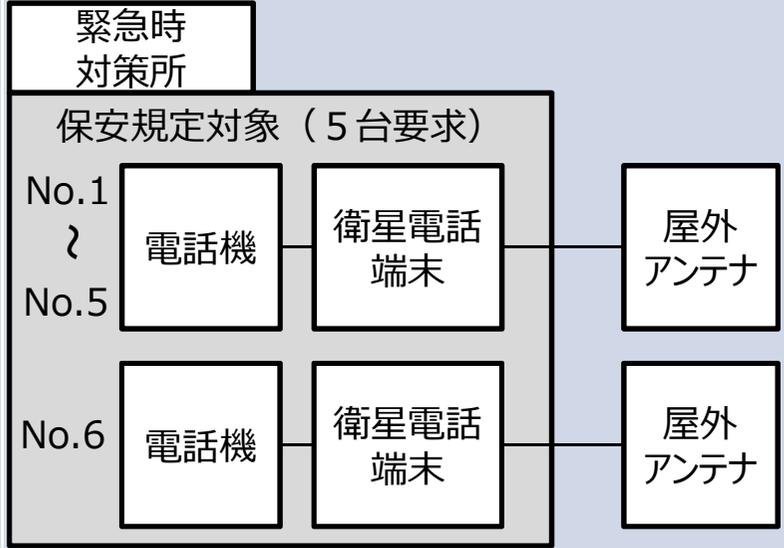
(a)



(b)

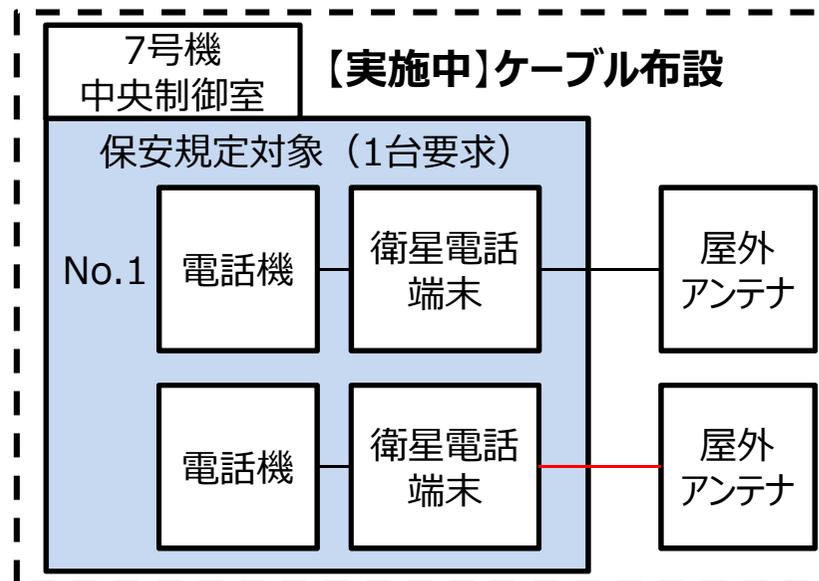
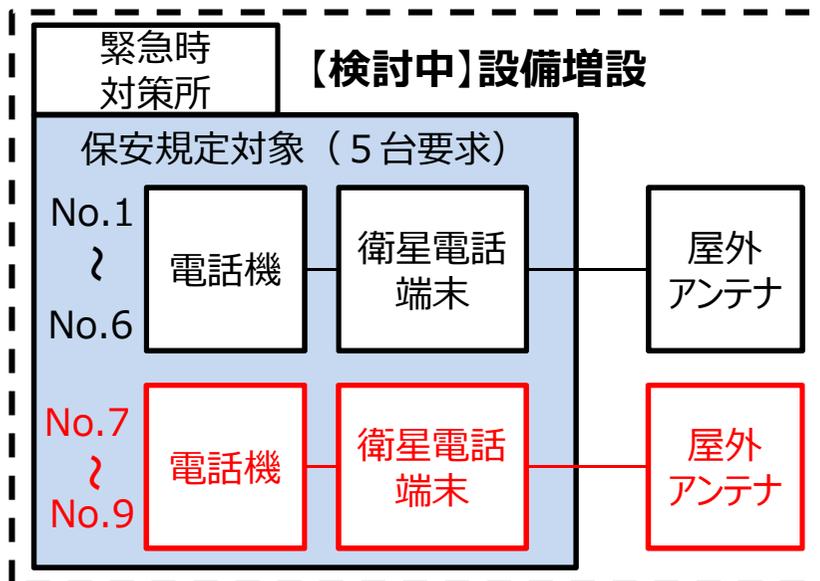
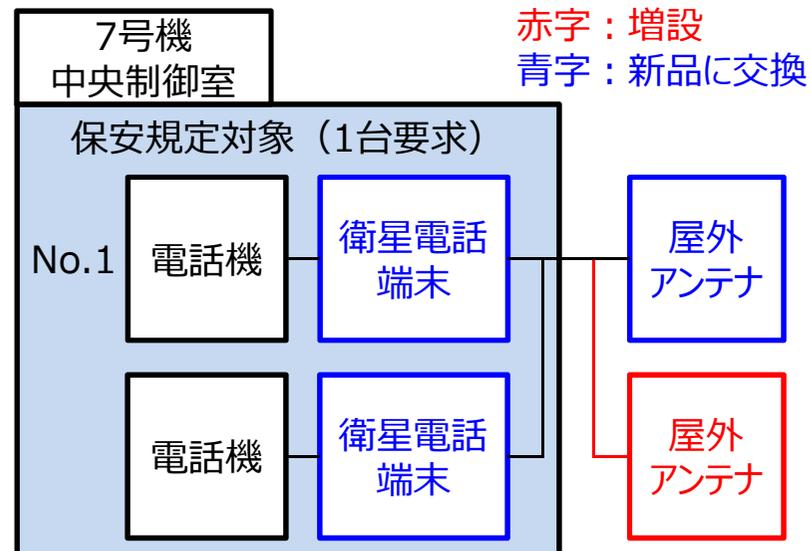
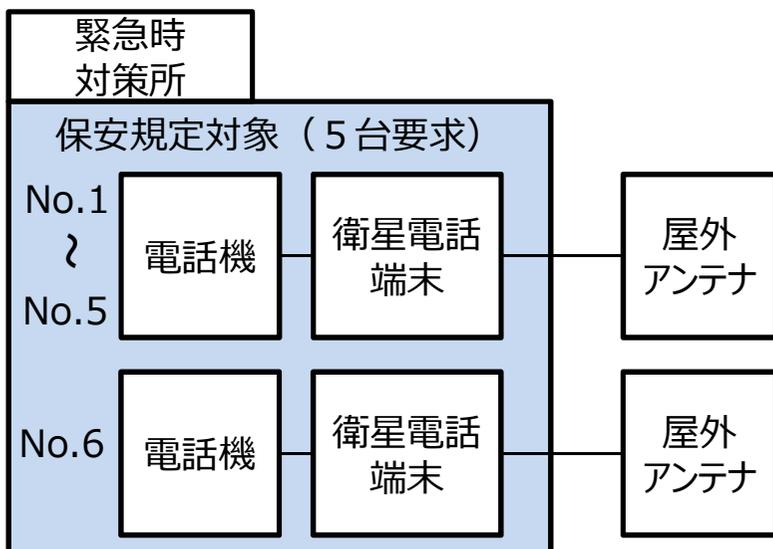


調査結果を踏まえた対策

	変更前	変更後
①アンテナの不具合対策	更新周期は、点検による状態確認の結果により定めることとしていた	設置してから4年程度で故障に至った今回の実績を踏まえて、設備更新周期を4年に設定
②コネクタの不具合対策	アンテナとの接続コネクタのケーブルかしめ部のチューブで防水	アンテナとの接続コネクタのケーブルかしめ部のチューブの上から自己融着テープを巻き水分の浸入防止を強化
③LCO逸脱の未然防止 実施済	保安規定で定める台数を設置 例.  <p>The diagram shows an emergency response site (緊急時対策所) with a security regulation target area (保安規定対象) requiring 5 units. Inside this area, there are 5 numbered units (No. 1 to No. 5). Each unit contains a telephone (電話機) and a satellite phone terminal (衛星電話端末). These units are connected to an outdoor antenna (屋外アンテナ).</p>	保安規定で定める台数以上に設備を増設  <p>The diagram shows the same emergency response site (緊急時対策所) with the security regulation target area (保安規定対象) still requiring 5 units. However, the equipment has been increased to 6 units. Units No. 1 to No. 5 are arranged in the top row, and unit No. 6 is in the bottom row. Each unit contains a telephone (電話機) and a satellite phone terminal (衛星電話端末). All units are connected to outdoor antennas (屋外アンテナ).</p>

参考. 現在の対策状況

- 7号機中央制御室の屋外アンテナ増設済 (3月13日)
- 7号機中央制御室の既設衛星電話端末と屋外アンテナを新品に交換済 (3月13日)



1. 安全対策設備について

- 2013年7月に施行された新規制基準では、地震・津波などに対する従来の基準が大幅に強化され、これまで事業者が自主的に実施してきた「重大事故対策」「テロ対策」も規制の対象となった
- 発電所内の安全対策設備には、新規制基準が施行される前から設置している「**既存設備**」と、施行後に新たに設置した「**SA設備（重大事故等対処設備）**」の2種類がある
- 原子炉施設で異常が発生した際には、まずは「既存設備」にて収束へ向けた対応を行い、既存設備が機能しなかった場合に「SA設備」を使用する流れとなる

	既存設備		SA設備	
電源	 外部電源	 非常用 ディーゼル発電機	 空冷式ガスタービン 発電機車	 電源車
注水・ 除熱	 非常用炉心冷却系 (注水)	 残留熱除去系 (除熱)	 消防車 (注水)	 代替熱交換器車 (除熱)
通信 機器	 PHS	 FAX	 衛星電話設備(常設)	 IP-FAX
測定 機器	 常設型 モニタリングポスト		 可搬型 モニタリングポスト	

+

2. 保安規定について

- 「保安規定」とは、事業者自らが定める規定であり、原子力発電所の運転の際に実施すべき事項や、従業員の保安教育の実施方針など、原子力発電所の保安のために必要な基本的な事項が記載されているもので、事業者はこれを遵守する必要がある
- 保安規定は「保安管理体制」、「運転管理」、「放射線管理」、「燃料管理」等の各章で構成されており、各章において当該分野に係る条項が規定されている
- このうち「運転管理」に関する項目の中で、安全上重要な既存設備ならびにSA設備に対して、「運転上の制限（LCO）」が設定されている

保安規定

※内容は一例

保安管理体制

- 発電所の組織体制
- 原子炉主任技術者や電気主任技術者の選任

放射線管理

- 管理区域への出入管理
- 放射線計測器類の管理

運転管理

- 自然災害発生への備え
- **運転上の制限（LCO）**

燃料管理

- 燃料移動手順
- 使用済み燃料の貯蔵・運搬



※プラント状態（運転や停止等）に応じて求められる運用や台数が規定

3. 運転上の制限（LCO）について（1/2）

- 既存の設備とSA設備の運用・維持管理にあたっては、巡視点検や定例試験が求められ、定期的に不具合等がないかを確認している
- 安全上重要な既存設備ならびにSA設備については、不具合が発生し、保安規定で求めている事項を満たさないと判断した場合には、保安規定の運転管理に関する項目で定めている、「運転上の制限からの逸脱（＝LCO逸脱）」を宣言し、通報公表基準に則った対応を実施
- 例えば、既存の設備が正常に動作するとしても、SA設備の一部に不具合が発生し、保安規定で求めている事項を満たさないと判断した場合は、LCO逸脱となる

＜LCOの要求例※1＞※1：7号機が運転中の場合

緊急時対応	使用する設備	
	既存設備	SA設備
地震や異常気象などにより外部電源が失われた際に、発電所内の電力を供給	＜非常用ディーゼル発電機＞ <u>LCO：3台が動作可能であること</u>	＜空冷式ガスタービン発電機車＞ <u>LCO：1台が動作可能であること</u>
原子炉が停止した後、炉心より発生する崩壊熱を除去・冷却	＜残留熱除去系＞ <u>LCO：3系統が動作可能であること</u>	＜熱交換器ユニット＋大容量送水車＞ （＝代替熱交換器車） <u>LCO：それぞれ1台が動作可能であり、分散配置されていること。</u>
緊急時対策所から所内外へ連絡	＜PHS、固定電話機＞ <u>LCO：要求なし</u>	＜①衛星電話（常設）②無線（可搬）＞ <u>① LCO：5台が動作可能であること</u> <u>② LCO：29台が動作可能であること</u>
放射性物質の影響を確認	＜常設型モニタリングポスト※2＞ <u>LCO：要求なし</u> ※2：保安規定で、発電所全体の合計要求数として9台の設置が要求	＜可搬型モニタリングポスト＞ <u>LCO：15台※3が動作可能であること</u> ※3：6号機及び7号機の合計要求数。

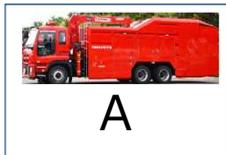
4. 運転上の制限 (LCO) について (2/2)

- 保安規定では、原子炉の安全機能を確保するため、機器の必要台数等を「運転上の制限(LCO)」として定めている
- 原子炉の運転中にLCO逸脱が発生した場合、機器によっては規定の時間内に復旧できないと原子炉を停止する必要があるが、モニタリングポストや通信連絡設備等は原子炉に対して直接的に影響を与えるものではないため、原子炉を停止する必要がない

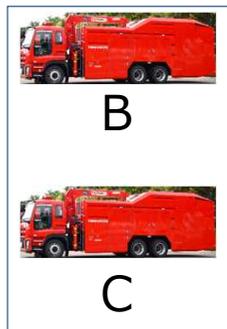
<LCO逸脱の例>

- ①大容量送水車（海水取水用）は、2台かつ分散配置が要求事項。予備を含め計3台（A,B,C）を配備

<荒浜側高台>



<大湊側高台>



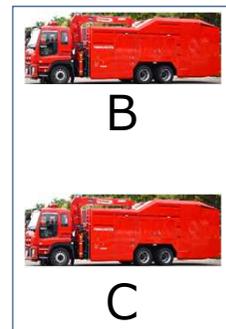
- ②Aが故障した場合、分散配置が出来ていないため、LCO逸脱

LCO逸脱

<荒浜側高台>



<大湊側高台>



- ③Bを移動させることで、LCO逸脱を解消

移動させることでLCO逸脱を解消

<荒浜側高台>



6号機 主要な安全対策工事の進捗状況について



ガスタービン発電機

万一の全交流電源喪失時にも重要機器の動力を確保



静的触媒式水素再結合装置 (PAR)

触媒の働きで、原子炉建屋に滞留した水素と酸素を水蒸気に変え、水素濃度の上昇を抑制



取水槽閉止板

海水ポンプ点検用の開口部から、津波が建屋内に浸水することを防止



原子炉建屋内緊急時対策所

重大事故等が6、7号機で発生した場合、所員が参集し、事故収束に向けた指揮命令等を実施



水密扉等の浸水防護対策

重要設備が設置されている部屋に、設備の破損で漏えいした水等の流入を防止



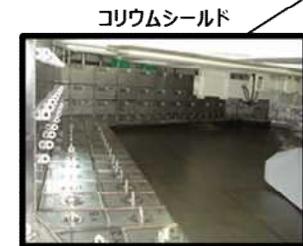
中央制御室待避室

炉心損傷が発生後、格納容器の圧力逃し操作を実施した際の、運転員の被ばくを低減させるための待避場所として使用



火山灰フィルタ

火山噴火による降灰時、非常用ディーゼル発電設備が火山灰で目詰まりしないよう、給気口にフィルタを設置



コリウムシールド

耐熱性の高い堰を設置し、溶融燃料によって、銅製の原子炉格納容器境界板が損傷することを防止



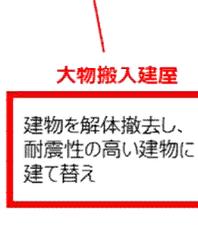
フィルタベント設備 (地上式)

万一ベントを行う際でも、大量の放射性物質の放出を防止



使用済燃料プールに注水するための外部接続口

重大事故発生時に外部から使用済燃料プールに注水ができるよう、消防車を接続



大物搬入建屋

建物を解体撤去し、耐震性の高い建物に建て替え



燃料取替機

耐震強化工事を実施



電巻防護ネット (複数箇所)

建屋の開口部に設置し、電巻により飛来した物の侵入を防止



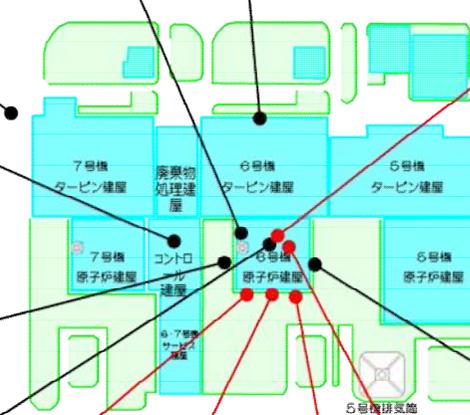
ブローアウトパネル閉止装置

主蒸気管破断などによりブローアウトパネルが開放した際、原子炉建屋内の圧力減少後に速やかに開いた隙間を閉止



高圧代替注水系 (HPAC)

原子炉隔離時冷却系 (RCIC) のバックアップとして、原子炉へ注水



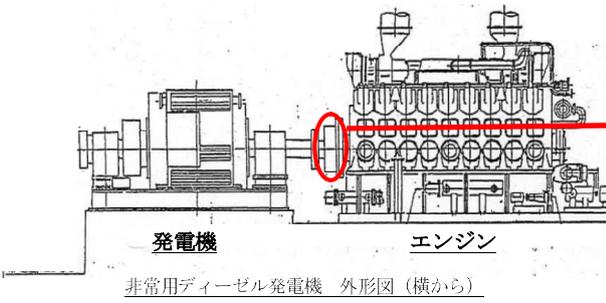
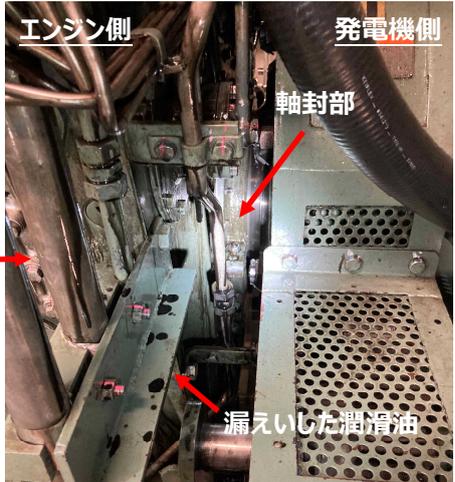
- : 工事实施中
- : 工事实施済

※工事实施済であっても、使用前事業者検査実施後に機能維持のための保全作業等が生じる場合あり
※工事については、使用前事業者検査を行い、原子力規制庁より使用前確認をもって完了

・貫通部対策 (火災防護・浸水防護)
・火災防護対策

※ 写真は一部7号機設備のものを使用

区分：Ⅲ

<p>号機</p>	<p>7号機</p>	
<p>件名</p>	<p>非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて</p>	
<p>不適合の概要</p>	<p>2025年4月9日、午後3時20分頃、原子炉建屋1階（非管理区域）において、当社社員が、非常用ディーゼル発電機（A）の定例試験を行っていたところ、停止操作前の機器状態確認時に、油の漏えい（約270cc）を確認いたしました。</p> <p>その後、午後3時30分頃に非常用ディーゼル発電機（A）を停止し、油の漏えいが止まったことを確認しています。</p> <p>漏れ出た潤滑油については、拭き取りを行っており、外部等への流出はなく、環境への影響はありません。</p> <p>なお、油の漏えいがあったことから一般回線にて公設消防へ連絡しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">潤滑油漏えい箇所の拡大写真</p>	
<p>安全上の重要度／損傷の程度</p>	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
<p>対応状況</p>	<p>今後、潤滑油が漏えいした箇所や原因の調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。</p>	

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年4月1日		
号機	-	件名	南66 kV建屋電源室（非管理区域）での火災の発生について（区分：I）

【事象の発生】

- ・2025年4月1日午前10時37分頃、当社社員が3号機低起動変圧器防災装置の定例試験を行ったところ、電動弁が作動しないため、電源盤を確認したところ、炎と煙を確認したことから、初期消火を行い、炎と煙は収まっております。
- ・その後、午後1時35分に公設消防による現場確認の結果、火災と判断されました。

（2025年4月1日にお知らせ済み）

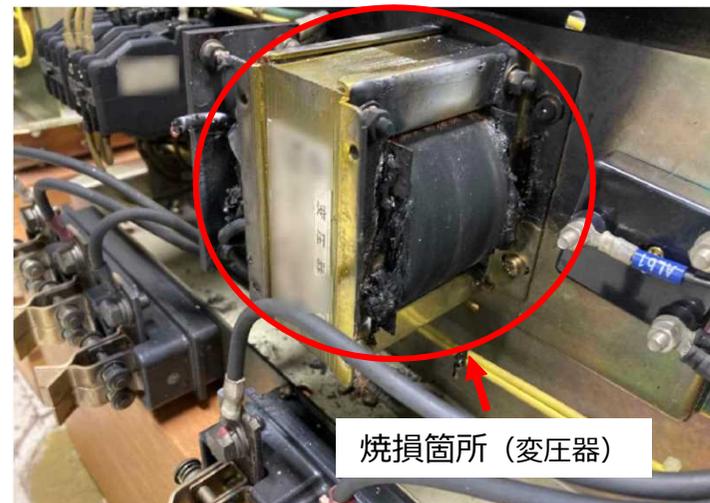
【対応状況】

- ・調査の結果、火災が発生した制御用補助変圧器と防災装置の電動弁との間をつなぐ制御ケーブルに地絡が発生。接地線を介して回路が形成され制御用補助変圧器（定格0.7A）に地絡電流（変圧器定格を上回る電流）が流れて、過熱したものと推定している。
- ・詳細については原因調査中。

①



<電源盤>



<取り出した制御機器>

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	-	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）	発生日	2025年1月27日
号機	-	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について （区分：Ⅲ）	発生日	2025年2月28日
号機	6	件名	6号機非常用ディーゼル発電機（C）制御盤室での発煙について（区分：Ⅲ）	発生日	2025年3月10日

不適合情報

2025年3月13日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	6号機	原子炉建屋1階(非管理区域)非常用ディーゼル発電機(C)制御盤室で発煙を確認した。初期消火を実施し、発煙が止まったことを確認。公設消防による現場確認の結果、非火災と判断された。調査の結果、制御盤内の計測器用変圧器からの発煙と判明。当該事象の原因調査を行い対策を検討。なお、制御盤は点検中で、非常用ディーゼル発電機は保安規定に定める要求台数を満足している。 【2025年3月10日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/2025031001p.pdf URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/2025031002p.pdf URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/2025031003p.pdf	2025/03/10	G III

3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	北側66kV補助建屋継電器室のエアコン室外機カバーが、腐食により脱落していることを確認した。当該エアコンを交換。	2025/03/07	
2	2号機	非常用ディーゼル発電機(B)の確認運転において、No. 8ピストンシリンダーの排気ガス温度計指示値がふらつくことを確認した。温度計の動作不良と推定。当該計器を点検・修理。	2025/03/10	
3	4号機	原子炉冷却材浄化系漏えい流量計点検において、液晶画面の表示不良およびデータ電圧出力の動作不良を確認した。当該流量計を修理。	2025/03/05	
4	5号機	非放射性スチームドレン移送系排水槽(C)の水位が上昇しても、水位高警報が発生しないことを確認した。調査の結果、水位検出スイッチの動作不良と判明。当該スイッチを点検・修理。	2025/03/06	
5	5号機	緊急時対策所の固定電話(自主設備)が通話できないことを確認した。調査の結果、NTT回線の不具合と判明。不具合を解消し復旧済み。	2025/03/09	
6	7号機	原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(G)の制御盤に、速度要求信号異常警報の発生を確認した。制御基板の一時的な不具合と推定。当該基板ユニットを点検・修理。	2025/03/08	
7	その他	大湊側補助ボイラー(4A)缶体上部のマンホールから蒸気漏れが発生し、凝縮水(約6リットル)が床面に溜まっていることを確認した。当該ボイラーを停止。蒸気漏れの原因調査を行い修理。	2025/03/06	

不適合情報

2025年3月14日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	タービン建屋(管理区域)常用照明灯用分電盤漏電遮断器(予備回路)の点検において、動作試験が行えないことを確認した。調査の結果、遮断器内部機構の固着による動作不良と推定。当該遮断器を交換。	2025/02/26	
2	5号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)南西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/08	
3	7号機	タービン建屋海水漏えい検出ピット(北側)水位計から、空気の漏れる音を確認した。調査の結果、計器内減圧弁のパッキンがずれており、計装用圧縮空気が漏れいしていることが判明。当該弁を点検・修理。	2025/03/09	

不適合情報

2025年3月17日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	中央制御室において、非放射性ストームドレン移送系排水ポンプ吐出ライン止め弁開閉表示ランプの両点灯を確認した。現場を確認したところ、位置検出スイッチ端子箱架台が腐食により傾き、位置検出スイッチ端子が接触不良になっていることが判明。当該架台を修理。	2025/03/11	
2	3号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)南西エリアの、電解鉄イオン注入系配管から水の滴下を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を点検・修理。	2025/03/01	
3	6号機	タービン軸封部蒸気系の停止において、軸封部蒸気排風機が設定値より高い蒸気圧力で自動停止したことを確認した。圧力設定値の指示ずれと推定。当該圧力設定器を点検・調整。	2025/03/10	

不適合情報

2025年3月18日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	ホットシャワードレン系収集ポンプ(A)シール水弁を全開したところ、空気作動弁駆動部から空気が漏れいしていることを確認した。パッキンの破損と推定。当該弁駆動部を点検・修理。	2025/03/03	
2	6号機	原子力規制委員会検査官によるほう酸水注入設備の検査記録の確認において、検査対象以外の系統運転記録についても添付した方が望ましいとのコメントを受けた。他の検査との整合性を確認し、必要に応じて検査項目の見直し、再検査を検討。	2025/02/28	
3	6号機	中央制御室の防災監視盤に、原子炉建屋地下1階(管理区域)南側通路エリアの警報発生/復帰を確認した。ただちに現場を確認し、炎や煙のないことを確認済み。感知器の動作不良と推定。当該感知器を交換し復旧済み。	2025/03/03	
4	6号機	タービン主要計測設備点検において、湿分分離加熱器第2加熱器加熱蒸気減圧弁開度検出器の入力抵抗値が測定できないことを確認した。当該事象の原因を調査し、開度検出器を交換。	2025/03/05	
5	その他	固体廃棄物処理設備モルタル混練機出口弁が中間開となっていることを確認した。弁開度位置検出スイッチの動作不良と推定。当該検出スイッチを点検・修理。	2025/02/28	
6	その他	代替熱交換器用トラクタのエンジンを始動したところ、車両下部に油の滴下を確認した。吸着マットにて拭き取り後に中和剤を散布。受けパン設置済み。漏れい箇所を特定し修理。なお、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2025/03/04	

不適合情報

2025年3月19日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	中央制御室において、復水ろ過/復水脱塩装置計算機盤内ファン警報ランプの点灯およびブザーの鳴動を確認した。計算機盤に異常のないことを確認。当該事象の原因を調査および盤内ファンを交換。	2025/03/04	
2	3号機	ホットシャワードレン系収集槽からの水の放出において、放出直後に異常警報の発生を確認した。調査の結果、放出水移送系統圧抜き弁の動作不良と推定。当該弁を点検・修理。	2025/03/12	
3	4号機	原子炉冷却材浄化系ブローダウン流量計点検において、計器精度の管理値逸脱および指針の動作不良を確認した。当該流量計を交換。	2025/03/04	
4	4号機	原子炉冷却材浄化系漏えい流量計点検において、計器精度が管理値を逸脱していることを確認した。当該流量計を交換。	2025/03/04	
5	6号機	復水器機能確認において、タービン(第8軸)軸受部から軸封のための所内蒸気系蒸気が漏れることを確認した。圧力を調整。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2025/03/10	
6	6号機	サービス建屋(管理区域)ホットシャワードレン系受タンク室入口扉に、上部誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/14	
7	7号機	使用済燃料プールキャスクピットゲートの取外し作業において、ゲート吊治具が変形したことを確認した。当該吊治具を交換。	2025/03/16	

不適合情報

2025年3月21日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉複合建屋附属棟凝縮水回収設備凝縮水移送ポンプ(A)シール水止め弁の開度表示が、全閉状態にもかかわらず30%開になっていることを確認した。開度指針のずれと推定。当該止め弁を点検・修理。	2025/03/07	
2	2号機	非常用ディーゼル発電機(A)点検において、排気管の伸縮継手制限バー(4本)に曲がりを確認した。制限バーの曲がりによる影響を評価し交換。	2025/03/11	
3	4号機	換気空調補機常用冷却水系の水抜きにおいて、高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機給気処理装置冷水コイルベント弁からの排水が止まらないことを確認した。調査の結果、給気処理装置の温度調節弁前弁または冷水コイル入口弁のシートパスと推定。当該弁を点検・修理。	2025/03/06	
4	6号機	原子炉格納容器内水素濃度計点検において、計器精度が管理値を逸脱していることを確認した。当該濃度計を点検・調整。	2025/03/17	

不適合情報

2025年3月24日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室において、信号入出力装置の非常用炉心冷却制御盤ディスプレイ装置画面(#8)が消失していることを確認した。当該装置画面を交換。なお、他の画面に問題はなく、プラント監視に影響なし。	2025/03/19	
2	5号機	プロセス放射線モニタに下限/動作不能、放射能高の警報の発生を確認した。調査の結果、モニタ盤用警報バイパス回路の不具合と推定。当該バイパス回路を点検・修理。なお、モニタは正常で監視データに異常のないことを確認済み。	2025/03/16	
3	5号機	所内蒸気戻り系レシーバタンク水位高検出スイッチの動作不良を確認した。当該スイッチを点検・修理。	2025/03/18	
4	6号機	原子炉建屋主要計測設備点検において、定検時燃料移動監視装置のプリンター電源を投入できず使用できないことを確認した。当該プリンターを交換。なお、監視画面で記録確認ができるため影響なし。	2025/02/18	
5	6号機	原子炉起動領域モニタ(B)コネクタ点検後の打振試験において、打振時に指示値が変動することを確認した。不具合箇所を特定し修理。	2025/02/26	
6	6号機	非常用ディーゼル発電機(C)点検において、排気管伸縮継手にへこみ(2箇所)を確認した。当該継手を交換。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2025/03/07	
7	6号機	復水補給水系配管清掃において、所内用空気圧縮系供給接続弁からのシートリークを確認した。当該接続弁を点検・修理。	2025/03/19	
8	7号機	タービン建屋(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/18	
9	その他	周辺防護区域内連絡通路(屋外)照明灯の不点灯を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2025/03/08	

不適合情報

2025年3月25日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)南東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/19	
2	5号機	一連の衛星電話不具合における調査過程において、緊急時対策所の衛星電話(常設)No. 2およびNo. 3について、2023年に発生した不具合による設備交換後の使用前事業者検査を実施していなかったことを確認した。速やかに使用前事業者検査を実施済み。なお、設備設置時(2021年)の使用前事業者検査は実施しており、設備交換後についても機能および性能確認を行い、また、月一回の定例試験を通じて継続的に使用可能な状態であることを確認している。今後、原因を調査し再発防止策を検討。	2025/03/19	
3	その他	水処理設備No. 3苛性ソーダコンスタントヘッドタンク下部のフランジ部から、薬液が析出していることを確認した。受けパン設置済み。当該フランジ部を修理。なお、薬液は析出のみで滴下していないことを確認済み。	2025/03/11	
4	その他	大湊側焼却設備焼却炉出口下部床面の耐火物(耐火レンガ)が損傷していることを確認した。耐火物を修理。	2025/03/19	

不適合情報

2025年3月26日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	原子炉建屋付属棟屋上(非管理区域)の非常用ディーゼル発電機(A)排気ルーバーの、金網および固定金具がルーバー室内側に脱落していることを確認した。金網を格子枠に番線で固定し仮復旧済み。当該金網および格子枠を修理。	2025/03/09	
2	5号機	中央制御室において、所内温水系バックアップ熱交換器蒸気供給温度調節弁を全閉操作したにもかかわらず、状態表示ランプが開・閉とも点灯していることを確認した。現場を確認したところ、当該温度調節弁が全閉となっていなかったことを確認。当該調節弁を点検・修理。	2025/03/09	
3	6号機	復水器伸縮継手シール水および復水器真空破壊管シール水の水張りにおいて、弁グランド部封水系封水補給水入口圧力調節弁に異音および振動が発生していることを確認した。圧力調整弁の動作不良と推定。当該弁を点検・修理。	2025/02/27	
4	7号機	中央制御室において、制御棒監視操作制御盤内端子台のネジ頭部の十字部が摩耗していることを確認した。当該端子台を交換。	2025/03/17	
5	その他	7号機側中央制御室入口扉が開できないことを確認した。扉の電磁機構を応急処置し仮復旧済み。当該扉を修理。	2025/03/22	
6	その他	荒浜側高台ヤードにおいて、大容量送水車ホース展張回収車(自主設備)からの油漏れ(パワーステアリングオイル、約50cc)を確認した。吸着マットにて拭き取り実施済みおよび中和剤を散布済み。受けパン設置済み。当該車両を修理。なお、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2025/03/22	

不適合情報

2025年3月27日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉複合建屋(管理区域)南西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/23	
2	3号機	所内蒸気戻り系ストレナーードレン弁から、微量な水の排水を確認した。当該ドレン弁のシートパスと推定。当該ドレン弁を点検・修理。	2025/03/11	
3	4号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/25	
4	6号機	非常用ディーゼル発電機(C)点検において、No. 9燃料噴射弁の動作不良を確認した。当該噴射弁を修理。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機中のため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。	2025/03/13	
5	6号機	原子炉建屋地下中1階(管理区域)残留熱除去系(C)配管室での仮設足場移設作業において、保護カバーを設置していた蛍光灯を破損させたことを確認した。保護カバーの仕様を見直し、蛍光灯を交換。	2025/03/12	
6	6号機	主発電機計器用変圧器盤点検において、自動電圧調整器盤内の接地金具の変形・折損、接続スイッチの破損を確認した。経年使用によるものと推定。当該調整器盤を修理。	2025/03/21	
7	6号機	格納容器隔離弁点検において、格納容器窒素入口隔離弁のシートパスを確認した。当該隔離弁を点検・修理。	2025/03/21	
8	7号機	使用済燃料号機間輸送作業において、燃料取替機を移動させたところ輸送容器ピット出入扉に接触したことを確認した。当該扉および手摺りを修理し、原因調査および対応策を検討。	2025/03/24	
9	その他	精密検査用WBC(内部被ばく測定装置)の定期点検において、動作不良を確認した。測定装置の使用を禁止。当該事象の原因を調査し修理。なお、他の測定装置(3台)に問題はなく、測定に影響なし。	2025/03/21	

不適合情報

2025年3月28日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	非常用換気空調系制御盤(B系)にコントローラ異常警報の発生を確認した。調査の結果、換気空調補機非常用冷却水系電源装置出力電圧が管理値を逸脱しており、電圧の瞬時低下による影響と推定。予備品と交換し応急処置済み。当該電源装置を点検・修理。	2025/03/25	
2	3号機	中央制御室において、プロセス放射線モニタ下限/動作不能警報が発生/復帰したことを確認した。調査したところ、放射線モニタ(B)の警報ランプ点灯を確認したが、モニタ指示値に異常がなかったことから復帰操作を行い復旧済み。当該事象の原因を調査しモニタを点検。	2025/03/16	
3	その他	2020年度に実施した緊急工事において、実施額が承認額を超過したことにもなう手続きをしていなかったことを確認した。類似事象の調査を行ったところ、15件の手続き未処理を確認。いずれの件名とも権限者の承認は得ており、予算管理に影響のないことを確認済み。変更があった場合の手続きを明確化し、関係者に周知。	2025/03/25	

不適合情報

2025年4月1日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/26	
2	3号機	ホットシャワードレン系収集ポンプ(A)吐出圧力計に指示不良を確認した。当該圧力計を点検・修理。	2025/03/27	
3	3号機	低電導度廃液系・高電導度廃液系・濃縮廃液系の導電率記録計の張糸が切断していることを確認した。当該張糸を交換。	2025/03/27	
4	4号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(A)吐出ドレン配管の保温材カバーが脱落していることを確認した。当該カバーを修理。	2025/03/16	
5	4号機	火災報知設備点検中に、中央制御室内の構内火災一括監視システムと自衛消防センター間の通信が停止/復旧したことを確認した。調査したところ消防センターから1~7号機間の通信確認においても、通信が停止/復旧することを確認した。リセット操作を行い正常状態に復帰したことを確認済み。当該事象の原因を調査。	2025/03/14	
6	4号機	中央制御室非常用外気取入隔離ダンパー弁体の浸透探傷試験において、判定基準を超える指示模様を確認した。当該弁体を交換。	2025/03/20	
7	5号機	換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(D)点検において、シャフトカップリングの嵌め合い寸法が管理値を逸脱していることを確認した。当該カップリングを交換。	2025/03/10	
8	6号機	フィルタベント容器ドレン弁点検において、弁棒回り止め用ボルトの頭部が損傷しネジ部を引き抜けないことを確認した。当該ボルト部を交換。なお、当該損傷は弁機能に影響がないことを確認済み。	2025/03/13	
9	6号機	規制検査官による現場確認において、逃がし安全弁配管端部の開口部養生(26箇所中のうち2箇所)に不備があることの指摘を受けた。不備箇所を是正済み。	2025/03/17	

不適合情報

2025年4月3日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	タービン建屋防煙ダンパー修理工事において、高圧電源盤室エリア(非管理区域)外気取り入れダクト点検口の固定枠が腐食により脱落し、ダクトとの間に隙間があることを確認した。養生テープで隙間を塞ぎ仮復旧済み。当該箇所を調査し修理。	2025/03/05	
2	5号機	非放射性スチームドレン移送系収集タンク(B)の入口第二弁下流側配管から、ピット内に水が滴下していることを確認した。調査の結果、配管に微小な孔が発生していることを確認。当該配管を交換。	2025/03/27	
3	6号機	主蒸気系配管閉止プラグ点検において、操作ユニット内の昇圧用ポンプが作動していないことを確認した。調査の結果、電磁弁の不良と判明。当該操作ユニットの電磁弁を交換。	2025/03/28	
4	7号機	タービン建屋(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/30	
5	7号機	タービン建屋(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/03/30	

不適合情報

2025年4月4日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	1号機	低起動変圧器防災装置の起動試験において、電動弁が動作しなかったことから電源盤を確認したところ、炎・煙の発生を確認した。初期消火を実施し、炎・発煙がおさまったことを確認。公設消防による現場確認の結果、電源盤内の制御用補助変圧器および配線の火災と判断された。当該事象の原因調査を行い、対応策を検討。 【2025年4月1日公表済み】 URL(第1報): https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2025/2025040101p.pdf URL(第2報): https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2025/2025040102p.pdf URL(第3報): https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2025/2025040103p.pdf URL(写真): https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2025/2025040104p.pdf	2025/04/01	GⅢ

2. G II グレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	圧力調整用消火ポンプ(A)の吸込/吐出圧力値が、通常より低いことを確認した。当該事象の原因を調査。	2025/03/26	
2	1号機	低起動変圧器(1SA)油容器内の油面が上昇していることを確認した。吸湿呼吸器乾燥剤(シリカゲル)の吸湿による水分の流入と推定。当該事象の原因を調査し修理。	2025/03/29	
3	1号機	主冷凍機(B)において、主冷水往ヘッダー環境改善用冷水出口配管ベント弁の弁棒が変形していることを確認した。当該弁棒を交換。	2025/03/29	
4	6号機	格納容器隔離弁点検において、可燃性ガス濃度制御系電動駆動弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2025/03/25	
5	7号機	取水口除塵装置が起動時間になっても起動しないことを確認した。タイマーの動作不良と推定。当該タイマーを点検・修理。	2025/03/31	
6	7号機	タービン建屋(非管理区域)東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/04/01	
7	7号機	原子炉建屋最上階(管理区域)で作業中の協力企業員のβγ線用ポケット式線量計が鳴動したため、退域して線量計を確認したところ、0.1mSv(β線)が記録されていたことを確認した。作業場所を測定したところβ線は検出されず、線量計の誤作動と推定。当該線量計の使用を禁止。作業員の線量を評価して修正。	2025/04/01	

不適合情報

2025年4月7日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)南西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/04/03	
2	7号機	タービン建屋(非管理区域)北東側エリア通路に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2025/04/01	

不適合情報

2025年4月8日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(A)排気管下部に、ロックウール(断熱材)および固定金網が落下していることを確認した。ロックウールを養生アルミテープで固定し仮復旧済み。当該ロックウールを交換。	2025/03/25	
2	1号機	南側開閉所低圧電源盤(B)遮断器(3B)を開放できないことを確認した。注油の応急処置により復旧済み。当該遮断器を点検・修理。	2025/04/01	
3	2号機	非常用ディーゼル発電機(A)燃料移送ポンプエリアにおいて、燃料移送ラインの防油堤～海水熱交換器建屋貫通部スリーブに腐食を確認した。当該箇所を修理。	2025/04/02	
4	その他	燃料輸送容器に関する容器所有元の依頼に基づく使用前の点検について、社内で検討し点検を省略することとしたが、容器所有元に対して情報が共有されていなかった。容器所有元と情報を共有し、ガイドに反映。	2025/04/03	

核物質防護に関する不適合情報

2025年3月25日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、不適合の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

区分Ⅰ 0件

区分Ⅱ 0件

区分Ⅲ 0件

その他 10件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器の付属機器の錆を確認したことから、当該設備を交換・修理し、正常な状態に復旧した。 なお、設備の機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2023/6/8	
2	核物質防護上の扉の一部に破損を確認したことから、破損箇所を修理し正常な状態に復旧した。 障壁機能は維持。 調査の結果、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2024/1/10	
3	侵入検知に使用する監視装置の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 現在、当該監視装置の付属機器は使用しておらず、運用にも影響がないことを確認した。	2024/4/17	
4	監視カメラの映像が一部乱れ、その後自然復旧したことを確認した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2024/8/23	
5		2024/11/3	
6	核物質防護用発電設備の障壁における排水設備に破損を確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該設備を修理し、正常な状態に復旧した。	2024/12/15	
7	核物質防護用の非常用発電機から冷却水が漏洩していることを確認した。 なお、漏洩量は微量であり発電機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2025/1/23	
8	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該照明を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2025/2/7	
9	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2025/2/20	
10	侵入検知器の遠隔による動作チェックが正常に終了しないことを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2025/2/22	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2025年3月31日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	福島第一原子力発電所にて、公表可能な状態の不適合情報が、一部未公表のままとなっていた案件が確認されたため、柏崎刈羽原子力発電所でも確認を行ったところ、同様に、一部未公表のままとなっている案件があったことを確認した。 調査の結果、不適合情報の取扱いに関するマニュアルに則り対応を行っていたが、公表対象の管理方法についての明確な手順書がなく、公表対象の把握が不十分だったことが原因であった。 対策として、公表対象の管理方法に関する手順書の作成をするとともに、管理表を用い組織的なチェック体制を強化し、関係者へ周知を実施した。	2025/3/13	
2	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所の点検・手入れを行い、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は代替措置にて維持した。	2023/1/11	NO.1関連
3	当社社員より、入構証を紛失したとの連絡があったことから、当該入構証の無効化措置をした。 調査の結果、入構証保管方法の運用が正しく理解されていなかったため、関係者に対して指導を行うとともに、所内に保管管理徹底の注意喚起を行った。 なお、後日、当該入構証は発見され、不正使用された形跡も確認されなかった。	2023/1/24	NO.1関連

4. 公表区分その他 4件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器の遠隔による動作チェックが正常に終了しないことを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面に異常はなく再現性もなかったことから、一過性の不具合と判断した。	2022/12/25	区分ⅢNO.1関連
2	監視カメラの映像が映らなくなり、その後短時間で自然復旧したことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面に異常は確認できなかったことから、一過性の不具合と判断した。	2023/7/7	区分ⅢNO.1関連
3	核物質防護検査時、核物質防護上の設備の鍵の管理方法について、マニュアルで明確となっていない運用があるとの指摘を受けた。 対策として、マニュアルを改訂し、関係者へ周知した。	2024/3/1	区分ⅢNO.1関連
4	監視カメラの洗浄機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/4/28	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2025年4月7日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	原子力規制庁より、核物質防護対象情報システムを構成する装置の接続状況などが分かるネットワーク構成図について、情報の誤記を指摘された。なお、他の設備資料等で有事の対応は可能であった。ネットワーク構成図を修正し、情報を更新した。	2023/12/8	
2	核物質防護上の扉の認証装置が、正常に動作しないことを確認した。なお、障壁機能は維持。調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/8/7	
3		2024/10/3	
4	監視用設備の異常を確認した。なお監視機能は維持。調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/10/8	
5	監視カメラの洗浄機能が、正常に動作しないことを確認した。なお、監視機能は維持。調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2025/2/23	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2025年4月)

2025年4月10日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定期検査による停止!												<燃料の管理> ○ 燃料は、7号機のみ原子炉内に872体の燃料を装荷済み。その他の燃料については、各号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定期検査による停止!												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定期検査による停止!												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定期検査による停止!												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定期検査による停止!												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定期検査による停止!												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定期検査による停止!												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (3月末現在)

3月	0.0%
2024年度累計	0.0%
運転開始後累計	37.7%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (3月末現在)

3月	0
2024年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (3月末現在)

当月発生本数	243
貯蔵庫累積貯蔵本数	30,113
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2024年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,683
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (4月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	865	2,293	51%
	刈羽村	71	213	5%
	その他	165	1,114	21%
	小計	1,101	3,620	76%
県外		132	1,384	24%
合計		1,233	5,004	—
		6,237※2		100%
協力企業社数(社)		669		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※2 参考：4月1日(火)の構内入構者数4,776人

⑦ 来客情報(人) (3月末現在)

	3月	年度累計
地元	1,017	13,982
県内	539	7,050
県外	446	7,587
国外	9	186
合計	2,011	28,805

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
4月20日	サービスホール春イベント
4月24日	定例所長会見(予定)
5月8日	定例記者説明会(予定)

インターネットホームページアドレス
https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)